

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オルオルネクストかべ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月25日 ~ 令和7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日 ~ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所と学童クラブが併設されており、学童児童とインクルージョンを目的とした交流実施	毎週火曜日に学童児童と交流の機会を設けています。火曜日の交流プログラムのみならず、学童主催のイベント活動に参加したり、地域で開催したアート展と一緒に作り上げる・参加する取り組みを行っています。	出来るだけ関わり合いながら交流出来るよう少人数でのグループを組み、遊びやアナログゲームの他にも一緒に作を作るなどの活動を通して交流しています。名前を覚えやすいよう名札をつけて交流しています。
2	曜日ごとの療育プログラムを実施	火：学童交流 水：立体アート 木：運動 金：アナログゲーム 曜日ごとの療育プログラムを実施し、児童様の発達への働きかけをしています。発達段階に合わせながら少人数グループで取組み、微細運動や粗大運動、ルールを守る、気持ちのコントロール、協調性などを児童へ合わせた課題へアプローチし、習得できるよう支援しています。	平日の療育プログラムのみでなく、土曜日や学校の長期休校日を利用して様々なイベント活動も行っています。買い物体験や防災訓練など日常に必要な体験や、余暇を楽しむイベント等も実施しています。児童が楽しめる環境であること、安心して通えることも大切にしています。
3	学年に対応した支援の提供	高学年の児童にはステップアップが出来るよう高学年向け事業所への移行支援を行っています。低学年児童が多く在籍している事業所のため、様々な取り組みの基本部分(ベース作り)の習得に力を入れて支援しています。	日々の取り組みの中で1つ1つの経験を大切にしています。何度も繰り返し行なながら、様々なことに対しての基礎がつくれるよう働きかけています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動スペースの確保	必要最低限の活動スペースしかない状況のため運動プログラムは狭さを感じる	パーテーションで場所の確保、プログラム場所とフリースペースを構造化により明確化をしています。使っていない机は片付けるなどをしながら、活動スペースの確保に努めています。
2	キャンセル待ち児童の多さ	できるだけ1人1人に支援を提供したいが、利用児童の空き枠がなくキャンセル待ち児童が増えてしまっている。	土曜日の利用活用、固定利用のご家庭へ早めのキャンセル連絡をしていただくよう呼びかけ、キャンセル待ちの児童が利用できるよう取組んでいます。
3			